

2 感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出状況(令和6年度(2024年度))

下田麻央、山田和美、門口真由美

1 はじめに

感染症発生動向調査事業は、感染症の発生情報の正確な把握と分析、国民や医療関係者への迅速な情報提供・公開により感染症の検出状況および特性を確認することにより、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及び蔓延を防止することを目的としています。

ここでは、熊本市感染症発生動向調査実施要綱に基づき指定された医療機関から搬入された検体について令和6年度のウイルス検査の結果を報告します。

2 材料及び方法

熊本市の病原体定点である6医療機関（小児科定点1、インフルエンザ定点2、基幹定点3）で採取され、健康危機管理課により搬入された糞便、咽頭ぬぐい液等の98検体を検査材料としました。月別・疾患別検体受付数を表15に示します。疾患別では感染性胃腸炎が66検体（67.3%）と最も多く搬入されました。

表1 月別・疾患別検体受付数

臨床診断名	2024年										2025年		
	検体数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザ	2										2		
咽頭結膜熱	0												
ヘルパンギーナ	0												
手足口病	0												
上気道炎	4		1								2	1	
下気道炎	4										2	2	
感染性胃腸炎	66	5	7	7	6	4	6	6	7	5	2	5	6
脳炎・脳症	3						2						1
心筋炎・心膜炎	2					1							1
無菌性髄膜炎	10	3				1	1		3	2			
その他	7	2			3						2		
計	98	10	8	7	9	6	7	8	10	7	6	9	11

検査は、4種類の細胞（Vero E6、HEp-2、RD-A、MDCK）を用いた培養法や、PCR法、リアルタイムPCR法、IC法などで行いました。分離または検出したウイルスは、シークエンスを用いた遺伝子配列の解析等により同定しました。

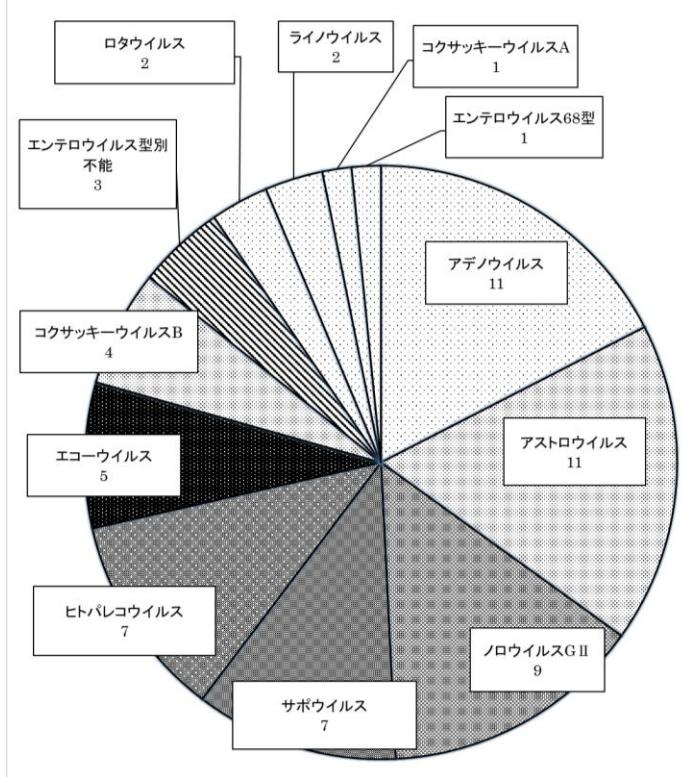
3 結果

疾患別ウイルス検出状況を表16、月別ウイルス検出状況を表17に示します。搬入された98検体中、ウイルスが検出されたのは56検体で、17種類（同一検体からの複数検出含む）

でした。そのうち、同一検体から複数のウイルスが検出されたのは 20 検体でした。

(1) 感染性胃腸炎

66 検体中、ウイルスが検出されたものは 44 検体でした。内訳は、アデノウイルスが 11 検体（同一検体からの複数検出含む、以下同じ）、アストロウイルスが 11 検体、ノロウイルス G II が 9 検体、サポウイルスが 7 検体、ヒトパレコウイルスが 7 検体、エコーウィルスが 5 検体、コクサッキーウィルス B 群が 4 検体であり、これら 7 種類のウイルスが検出された検体の大半を占めました。アデノウイルスはシークエンスにより型が同定できたものは 6 検体で、内訳は 2 型が 2 検体、19 型が 1 検体、41 型が 3 検体でした。サポウイルスの遺伝子型の内訳は、G I が 2 検体、G II が 2 検体、G IV が 1 検体、G V が 2 検体でした。



(2) 上気道炎

4 検体中、ウイルスが検出されたものは 1 検体で、アデノウイルスでした。

(3) 脳炎・脳症

3 検体中、ウイルスが検出されたものは 1 検体で、ライノウイルス、EB ウィルスでした。

(4) 下気道炎

4 検体中、ウイルスが検出されたものは 3 検体でした。内訳は、ヒトメタニューモウイルスが 2 検体、アデノウイルスが 1 検体、エンテロウイルス型別不能が 1 検体、ライノウイルスが 1 検体、RS ウィルスが 1 検体でした。

(5) その他

そのほかの疾患では、敗血症性ショック疑い、先天性肺炎、急性肝炎等がありました。計 7 検体中、ウイルスが検出されたものは 3 検体で、単純ヘルペスウィルス 2 型が 2 検体、エコーウィルスが 1 検体でした。

表2 疾患別ウイルス検出状況(同一検体からの複数検出含む)

臨床診断名	インフルエンザ	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	手足口病	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	脳炎・脳症	心筋炎・心膜炎	無菌性髄膜炎	その他	計
検体数	2	0	0	0	4	4	66	3	2	10	7	98
ウイルス検出検体数	2	0	0	0	1	3	44	1	0	2	3	56
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2											2
インフルエンザウイルスAH3												0
インフルエンザウイルスBビクトリア系統												0
インフルエンザウイルスB山形系統												0
アデノウイルス					1	1	11					13
ノロウイルスG I												0
ノロウイルスG II							9					9
ロタウイルス							2					2
サポウイルス							7					7
アストロウイルス							11					11
コクサッキーウイルスA							1					1
コクサッキーウイルスB							4					4
エコーウイルス							5				1	6
エンテロウイルス68型							1					1
エンテロウイルス71型												0
エンテロウイルス型別不能					1	3			2			6
ヒトパレコウイルス							7					7
パルボウイルスB19												0
ヘルペスウイルス6, 7												0
単純ヘルペスウイルス1, 2										2		2
EBウイルス								1				1
サイトメガロウイルス												0
ムンプスウイルス												0
ヒトメタニユーモウイルス					2							2
RSウイルス						1						1
パラインフルエンザウイルス												0
ライノウイルス						1	2	1				4
マイコプラズマ												0

表3 月別ウイルス検出状況(同一検体からの複数検出含む)

	2024年											2025年			計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
インフルエンザウイルスAH1pdm09										2						2
インフルエンザウイルスAH3																0
インフルエンザウイルスBピクトリア系統																0
インフルエンザウイルスB山形系統																0
アデノウイルス			1	2		1	2		2	1	1	1	2			13
ノロウイルスG I																0
ノロウイルスG II	2	1	2									1	3			9
ロタウイルス												1	1			2
サボウイルス			1	1		1				1	1	1	1			7
アストロウイルス				1		2	2	2		3	1					11
コクサッキーウイルスA					1											1
コクサッキーウイルスB				1	1				2							4
エコーワイルス	1		1			1	2		1							6
エンテロウイルス68型							1									1
エンテロウイルス71型																0
エンテロウイルス型別不能				1					2	1	1		1			6
ヒトパレコウイルス		1	2	2		1		1								7
パルボウイルスB19																0
ヘルペスウイルス6, 7																0
単純ヘルペスウイルス1, 2				2												2
EBウイルス								1								1
サイトメガロウイルス																0
ムンプスウイルス																0
ヒトメタニユーモウイルス												1	1			2
RSウイルス														1		1
パラインフルエンザウイルス																0
ライノウイルス					1			1			1		1			4
マイコプラズマ																0
不検出	7	5	2	2	3	4	2	4	3	2	4	4				42